

動物観研究会公開ゼミナール 2022 発表プログラム

- 10:00 - 10:00 開会 挨拶 亀山 章 (日本自然保護協会)
- 10:10 - 10:40 「ウニ発生過程の観察と動物観形成～「マイウニ」と児童・生徒の動物観～」
小川博久・花園 誠 (帝京科学大学)
- 10:40 - 11:10 「現代日本の昆虫文化 ～カブトムシ・クワガタ飼育の広がり経緯と背景～」
奥山友太・佐渡友陽一 (帝京科学大学)
- 11:10 - 11:40 「体の特徴を捉えれば触知覚のみで猫の表現は可能か」
松本紗佳 (大阪芸術大学大学院)
- 11:40 - 12:10 「猫と芸術家の関係性について」 小西夢香 (大阪芸術大学)
- 12:10 - 13:00 昼食休憩
- 13:00 - 13:30 「季節と衰滅 嘉村儀多小論～古井由吉・吉本隆明の視角から」
森 由民 (動物園ライター)
- 13:30 - 14:00 「2021年、動物観調査の結果について(速報)」
大林駿斗 (動物観研究所)、佐渡友陽一 (帝京科学大学)、石田戡 (動物観研究所)
- 14:00 - 14:30 「欧米からアジアに広がるアニマルウェルフェア：グローバルフードパートナーズの取り組み」
加藤恵理・綿引周 (東洋学園大学)
- 14:30 - 14:45 休憩

特別テーマ「精神領域から探る動物福祉—いかにして可能となるか」

- 14:45 - 14:50 趣旨説明 若生謙二 (大阪芸術大学)
- 14:50 - 15:20 「アニマルウェルフェア 第五の領域を総合科学 (Nexialism) 的に観る」
波多野幾也 (NPO 法人日本放鷹協会)
- 15:20 - 15:50 「動物福祉における形式知と暗黙知 動物の感情を代弁するのは誰なのか？」
本田直也 (札幌市立大学)
- 15:50 - 16:20 「動物福祉と遊び」 島田将喜 (帝京科学大学)
- 16:20 - 16:30 休憩
- 16:30 - 17:50 総合討論「精神領域から探る動物福祉—いかにして可能となるか」
進行：石田 戡 (動物観研究所)
- 17:50 閉会

開催日 : 2022年12月4日(日)

場 所 : 東京農工大学農学部・2号館2-11

アクセス : JR 中央線 国分寺駅南口より府中駅行バス晴見町下車
京王線府中駅より国分寺駅南口行バス晴見町

入場料 : 無料

動物観研究会